

小学六年

適性検査 D

解答と解説

1

問題1
3

問題2
【例】
個人向けの和傘の販売を開始したり、和傘づくりを体験できるプログラムをつくったことよって、全国から多くの人々が来るようになり、危機的な状況だった和傘の生産が続けられるようになった。

問題3
洪水が
おこるのを防ぐ

問題4
1、4
問題5
3

2

問題1
エ・オ

問題6
【例】
境客こ対るぎ
とにと策人てオ
なとてとた道ー
るつ観しちがバ
こて光ての混ー
とも客、移んツ
が地が観動てー
考域増光がしリ
えのえ地不まズ
ら住すに便いム
れ民ぎ入に、に
るにるれなそよ
。とこるつのっ
つと人て土て
てを数をし地観
も防をまに光
快ぎ制う住客
適、限。んが
な観すそで多
環光るのいす

【例】
筆者は、人間関係構築にくためにはだれとで
問題2【例】
その今の状態だちは関係が持続か
ないようになっています
40 20

問題3

	に	そ	よ	周	も	環		た	時	力	言		べ	よ	た	も
	、	こ	う	囲	な	境	な	い	の	を	う	周	て	う	い	お
	い	か	努	の	い	は	ぜ	と	人	持	よ	囲	い	な	ー	だ
	ろ	ら	力	人	こ	変	な	思	間	ち	う	の	る	人	「	や
	い	は	し	と	と	わ	ら	う	関	続	に	人	。	間	も	か
	ろ	な	な	い	も	る	、	。	係	け	、	と		で	っ	に
	な	れ	が	が	あ	は	そ		に	た	だ	人		あ	と	つ
	人	て	ら	み	る	ず	の		こ	い	れ	間		ろ	話	き
	間	落	、	合	と	だ	時		だ	と	と	関		う	し	あ
350	関	ち	負	わ	思	が	そ		わ	私	で	係		と	た	う
	係	着	担	ず	う	、	の		り	は	も	を		す	い	力
	を	く	に	お	か	自	時		す	思	お	築		る	ー	を
	築	こ	感	だ	ら	分	で		ぎ	う	だ	く		こ	と	持
	い	と	じ	や	だ	で	周		な	。	や	際		と	思	ち
	て	が	た	か	。	は	囲		い	同	か	に		が	っ	、
	お	で	ら	に	自	ど	に		よ	時	に	は		重	て	「
	き	き	い	過	分	う	い		う	に	つ	、		要	も	ま
	た	る	っ	ご	な	し	る		に	、	き	筆		だ	ら	た
	い	よ	た	せ	り	よ	人		も	そ	あ	者		と	え	会
	。	う	ん	る	に	う	や	200	し	の	う	が	100	述	る	い

(配点)

① 問題1、問題3、問題4、問題5……各3点 問題2……8点 問題6……18点

② 問題1……4点 問題2……8点 問題3……50点

③ 問題4、②問題1……順不同・完全解答

計100点

【解説】

① ささまざまなテーマをテーマにした問題

問題 1 B1 情報を獲得する 関係づけ 比較

資料の内容を読み取って答える問題です。

1 【資料1】から、アジアのほか、中南米やアフリカでは現
地法人数は増えていますが、北米やヨーロッパ、オセアニア
では減っています。また、【資料2】から、製造業全体の海
外生産比率は増加し続けていますが、誤った内容です。

2 【資料1】から、アジアのほか、中南米やアフリカでは現
地法人数は増えていますが、北米やヨーロッパ、オセアニア
では減っています。また、【資料2】から、海外生産比率は
すべての項目で増加していますが、2020年の食料品の割合
は20%をこえていないため、誤った内容です。

3 【資料1】から、アジアの現地法人数は3920社から
8382社になっており、2倍以上に増えていることがわか
ります。また、【資料2】から、製造業全体の海外生産比率
は増加し続けているため、正しい内容です。

4 【資料1】から、アジアの現地法人数は3920社から
8382社になっており、2倍以上に増えていることがわか
ります。しかし、【資料2】から、海外生産比率はすべての
項目で増加していますが、2020年の食料品の割合は20%
をこえていないため、誤った内容です。

問題 2 B1 情報を獲得する 関係づけ 具体・抽象

【資料4】を参考に、観光産業に関する取り組みの具体例を
挙げて、その効果について、空欄にあてはまるように答える問

題です。

【資料4】中の具体的な取り組みとその結果から、「体験プロ
グラムに全国から申し込みがくるようになった」ことや、「周
辺のお店で飲食をしたり、宿泊をしたりする人たちも増えた」
ことがわかるので、その点がこの取り組みの効果として挙げら
れます。また、「個人向けに販売をする」ことで売れる数が増
えたことも効果の1つとして挙げられます。これらのできごと
が、伝統産業を続けられない危機的状況から抜け出すきつけ
と考えることができます。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について(6点)

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、3点の減点
となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

- ・【資料4】から読み取れる取り組みが1つ書かれているか
- ・読み取った取り組みによる効果が書かれているか
- ・内容に過不足がないか
- ・文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか
- 形式等について(2点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り
1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直
線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか

- ・不適切な話し言葉の使用がないか
- ・消し残りなどで字が見づらくないか

問題 3

B1

情報を獲得する 関係づけ 具体・抽象

【資料6】、【資料7】を参考に、柵田の役割について説明する問題です。

【資料7】から、柵田がない方の斜面だと雨水がそのまま流れ、川が増水していることがわかります。川が増水は洪水の発生につながりますが、柵田がある方の斜面では、それぞれの田にたまった雨水が地下にしみこむため、まとまった量の水が川に流れこむことがなく、川も増水していません。このように柵田にはダムのような役割があり、地すべりや洪水を防ぐ働きがあります。その他にも、田があることにより多様な動植物が生活できる環境を確保することができます。また、柵田のある地域では農業と結びついた独自の伝統文化がある場所も多く、柵田があることで、そういった伝統文化が引きつがれていくという働きもあります。

問題 4

B1

情報を獲得する 関係づけ 比較

【資料8】を参考に、ダークツーリズムに分類されるものを選ぶ問題です。

- 1 原爆ドームは原子爆弾の投下によっておこった悲劇を後世に伝えている建物なので、この場所をおとずれることはダークツーリズムに分類されます。
- 2 美術館で美術品にふれて知識を深めることはヘリテージツーリズムにふくまれますが、ダークツーリズムには分類されません。

問題 5

B1

情報を獲得する 関係づけ 比較

【資料9】のグラフが示す内容を読み取る問題です。

- 1 訪日外国人数と出国日本人数の差が大きいののは2000年ごろや2019年ごろですが、いずれもその差は1000万人ほどで、3000万人には満たないため、誤った内容です。
- 2 訪日外国人数が初めて500万人をこえたのは2002年なので正しいですが、出国日本人数が初めて500万人をこえたのは1986年で、1980年代のため、誤った内容です。
- 3 訪日外国人数は2012年ごろから大幅に増加し始め、2015年に出国日本人数を上回っているため、正しい内容です。
- 4 新型コロナウイルスの影響で、訪日外国人数と出国日本人数はいずれも2021年には大幅に減少しましたが、2022年から再び増加傾向にあります。しかし、2023年の出国日本人数は1000万人ほどで1500万人に満たないため、誤った内容です。

- 3 奈良県や京都府にある寺院や神社は世界遺産にも登録されている歴史ある遺産ですが、悲劇的なきごとを指すものではないので、ダークツーリズムには分類されません。
- 4 東日本大震災は2011年におこった大災害で、多くの人が被害を受けました。現在少しずつ復興が進んでおり、その場所を観光することは災害の記憶を未来につなげていくことなので、ダークツーリズムに分類されません。

問題 6 C1 理由 関係づけ 具体・抽象

オーバートーリズムの問題点とその対策について、【条件】にしたがって説明する問題です。

これまでの【会話】や【資料】の内容はツーリズムの種類やその利点について示されていますが、観光客が過度に増えすぎることでのような問題がおこるか、そしてどのような対策があるかについて考えましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について (9点)

字数制限を満たした上で、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、3点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・オーバートーリズムにより考えられる悪い影響が書かれているか

・書かれた悪い影響に対して、その対策が書かれているか

・内容に過不足がないか

・文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか

・同内容の不必要な反復がないか

形式等について (5点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは3点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・誤字や脱字がないか

・文法的な誤りがないか

・語句や言葉の使い方に誤りがないか

・常体、敬体の混在がないか

・不適切な話し言葉の使用がないか

・消し残りなどで字が見づらくないか

マス目の使い方・構成について (4点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは2点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・問題の条件で指定されたマス目の使い方に誤りがないか

2 自分の意見を記述する問題

問題 1 **B1** 情報を獲得する 比較 関係づけ

ア 1 ページ上段に「たとえ自分と合わない人でも、いがみ合わずにつきあえるようにすることがいちばん大事なので」とあります。付き合いを減らしていくのが良い、と矛盾するので、誤りです。

イ 筆者は一貫して「人とどうつき合っていくか」について述べており、「人とかかわらずに生きていく選択肢」については説明していません。したがって、誤りです。

ウ 1 ページ下段に「友だちとは、素の自分をさらけ出してつきあうのではありません」とあります。筆者は友だちとの関係において、「素の自分をさらけ出す」ことを重視していません。したがって、誤りです。

エ 1 ページ下段の後半に「大人になると、どういう仕事をしているか、独身なのか結婚して家族がいるのかといったことも、友だちになりやすさに影響してきます」とあります。選択肢の内容と一致しており、正しいといえます。

オ 本文の最終行に「環境が変わるときは、新たな人間関係を築くチャンスです」とあります。選択肢の内容と一致しており、正しいといえます。

問題 2 **B1** 情報を獲得する 置き換え 関係づけ

傍線部直前に「たとえば」という例示を表す接続詞があります。この直前を確認すると、中高生はいまの自分にとってどうかということに意識を集中しがちであること、いまの友だち関係が永遠に続くわけではないことが説明されています。その具体例として「狭い人間関係の中で意地悪をしたり、仲間はずれ

にしたりするというケース」が挙げられています。したがって、「いまの友だち関係がすべてだと思える」こと、「その状態が永遠に続くわけではない」ことを盛りこんでまとめるとよいでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について (4点)

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・「(中高生は)いまの友だち関係をすべてだと思いがちであること」と、「いまの友だち関係が永遠に続くわけではないこと」についてそれぞれ正しく触れているか

・ 書かれた内容に過不足がないか

・ 文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について (3点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 誤字や脱字がないか

・ 文法的な誤りがないか

・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか

・ 常体、敬体の混在がないか

・ 不適切な話し言葉の使用がないか

・ 消し残りなどで字が見づらくないか

マスの使い方・構成について (1点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り

1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 一行目の一マス目から書かれているか

問題 3

C2

理由

置き換え

推論

文章をふまえ、今後周囲の人と人間関係を築く際に気をつけたいことについて、あなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、人間関係を築くうえで必要だと考えられることについて、筆者の考えをまとめます。1ページ下段の「『また会いたい』『もっと話したい』」と書いてもらえないと、関係が進まない」の部分や、「『どうしたら、一緒にいたい』と思ってもらえるか』を考えると、そういう自分であろうとする」などが参考になるでしょう。

第二段落では、「周囲の人と人間関係を作る際に気をつけたこと」について、あなたの考えをまとめます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きません。第二段落で述べたことをふまえて、自分がなぜそれに関心をつけたかと思っているかが伝わるように書きましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について (30点)

字数制限を満たした上で、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、6点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・ 第一段落

人間関係を築くうえで必要だと考えられることについて本文で示された内容がまとめられているか

・ 第二段落

「周囲の人と人間関係を作る際に注意したいこと」ということについて自分の意見がまとめられているか

・ 第三段落

第二段落に書いたことについての理由が書かれているか

・ それぞれの段落に書かれた内容に過不足がないか
 ・ 文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか
 ・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について (10点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 誤字や脱字がないか
 ・ 文法的な誤りがないか
 ・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか
 ・ 常体、敬体の混在がないか
 ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
 ・ 消し残りなどで字が見づらくないか

原稿用紙の使い方・構成について (10点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点。2つ目以降は誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・ 原稿用紙の使い方、誤りがないか
 ・ 指定された段落数で書かれているか

* 300字未満の場合、採点対象としません。

